

小平コーラス・アカデミー演奏会～ロシア最高の人気民族楽器奏者を迎えて～

2019年7月6日(土) 14:00 開演 ルネこだいら大ホール

昭和、平成と合唱界を牽引している伝説的指揮者・郡司 博が
日本の合唱曲の新たな魅力を引き出す！

團伊玖磨「岬の墓」

團伊玖磨氏が中国で客死した翌年、太平洋の岸壁に立つ八丈島の彼の書齋に招かれた。「岬の墓」は、日本合唱界において特別な位置を占める。叙情性が求められる中であって、過酷な戦争を体験した作詞、作曲家が心血を注ぎ、世に送り出したものである。声高に叫ぶ怒りや涙ではない。オペラ「夕鶴」に並ぶ代表作と言っていい。オーケストレーションは家族からの許可を得てかかれたものです。(ぐ)

木下牧子

日本語の美しさと多様な色彩を「旋律と和声」で表現できる数少ない作曲家。口ずさめる様な優しさを持ち、仲間と歌うことで心の中がほぐれてくる。最近多くの合唱団のレパートリーになっている。(ぐ)

演奏曲：うたをうたうとき、おんがく、ロマンチストの豚、さびしいカシの木、めばえ、いっしょに、鷗

3人のロシア民族楽器奏者を迎えて (プロフィールは裏面にあります。)

戦後、5年程足立区の工場街にある保育園に一家5人が住み込んだ。その保育室から夜になると街の青年たちが歌う美しいロシア民謡が聴こえてきた。自然の歌、恋の歌、戦争で死んだ兵士たちへの哀悼の歌、そして労働の喜びの歌、それらは今でも私の心の奥に残っている。スヴェシニコフ指揮、国立アカデミー・ロシア合唱団のロシア民謡のレコードは擦り切れる程聴いた。世界最高水準の民族楽器奏者の演奏とオーケストラ(OSJ)のコラボも感動的であろう。(ぐ)

青島広志

彼が芸大の院生を終え、私が30代の頃、第1版のマザーグースのうたを贈呈してくれた。それから40年。今回初めて取り上げる。昭和の高度経済成長真っ只中で青年たちは大いに浮かっていた時代であり、それがこの作品の面白さでもある。(ぐ)

演奏曲：ばらはあかい、コールのおうさま、ゴータムむらの

ロシア民族楽器と歌いましょう

ロシア人は、皆で歌うことが大好きな国民だ。過酷な労働や想像を絶する悲しみを乗り越え、希望をもつ唯一の方法だったに違いない。その中にあらゆるロシア芸術の源がある。今回のルネこだいらのステージの最後にロシア楽器と日本のオーケストラをバックにロシアの合唱名曲を演奏することにしました。(ぐ)

演奏曲：道、ともしび、モスクワ郊外の夕べ

★2回程の練習でロシア民謡だけ歌う合唱団員も別途募集予定です。詳細は決まり次第 HP に掲載いたします。
練習費+チケット2枚で8000円程度を予定。

決定！来年2020年2月29日(土) ルネこだいら大ホール ヘンデル「メサイア」(全曲)演奏会

1996年のメサイア初演の地 ダブリン・聖パトリック教会、日本からの指揮者郡司博のメサイアに聴衆はスタンディングした。ルネこだいらでの第一回新春メサイア公演は阪神大震災の前日1月16日だった。久々のこだいら公演、プロフェッショナルのオーケストラで歌う醍醐味を親切丁寧に指導します。

練習は以下の2か所で2019/9/1(東京芸術劇場)ハイドン「四季」公演終了後から予定しています。

①週末 9:45-12:00 or 18:15-20:45 月3回程 ルネこだいら地下練習室1

②金曜午後 カンマーザール in 立川で月2~3回程(7月から初心者練習を予定)

※詳しくは、おんがくの共同作業場ホームページ・チラシなどをご覧ください。

～ロシア民族奏者の profile～



マクシム・ガヴリレンコ

グースリ奏者。ロシアの民族楽器グースリの古くから伝わる演奏法の継承者。ロシアの著名なグースリ奏者の1人。古代の歌やブィリーナ(古代ロシアの英雄叙事詩)から、現代の作品まで幅広いレパートリーを持つ。作詞、作曲、編曲も行うほか、グースリも製作している。

グースリ・アンサンブル「ジヴァーヤ・ヴァダー」(ロシア語で「生きている水」を意味する)のメンバーであり、グースリを中心に構成された音楽グループ「ラドーナ」(ロシア語で「手のひら」を意味する)のリーダー。「ラドーナ」は、グースリ、オーボエ、ベース、ドラムによって13世紀の歌からオリジナル楽曲までを演奏するユニークなグループ。1000年前と同じように愛、美、平和、喜び、孤独などを古代の楽器グースリの音色に乗せて21世紀の現代人に語りかける。モスクワの救世主キリスト大聖堂、トロイツェ・セルギー大修道院などの教会でのコンサート、さまざまなフェスティバル、イベントなどにも出演し、ロシア全土で演奏活動を行っている。

コンスタンチン・ザハラト

バラライカ奏者。モスクワのグネーシム音楽大学を卒業。国内外の名立たる民族楽器コンクールにて数々の受賞歴を持つ。ウラジーミル・スピヴァコフ国際慈善基金の奨学生にも選抜されたほか、ロシア大統領賞も受賞している。2006年に M・E・ピャトニツキー記念国立アカデミーロシア民族合唱団にバラライカ奏者として入団。2012年からはN・Pオシポフ記念国立アカデミーロシア民族楽器オーケストラのソリストを務めている。後進の指導・育成にも尽力しており、2018年の「モスクワ市芸術学校最優秀教師」に選ばれるバラライカ奏者3人組のグループ「バラライカ・トリオ」の創立者でもある。これまでに日本、ベトナム、ドイツ、イタリア、フランス、ポーランド、北朝鮮、ポルトガル、スペイン、スイスなど世界各地で演奏会を行っている。



エヴゲーニー・ミロネンコ

バイヤン奏者。モスクワのグネーシム音楽大学を卒業。M・E・ピャトニツキー記念国立アカデミーロシア民族合唱団で12年間にわたり合唱団員およびバイヤン奏者として活躍、合唱パートの指導も担当したほか、同合唱団の児童スクール・スタジオの責任者も務める。現在は主にバイヤン奏者、子供向け劇団の脚本家として活動、演劇や映画に俳優としても出演している。ロシア民謡アンサンブル「ミール・ソロ」の指導者。ロシア民謡の編曲も行う。ロシアの民族芸術祭で多数のディプロマを受賞、ロシア文化省より感謝状の表彰も2度受けている。演奏会で日本を4回訪れている。

公演:2019年7月6日(土) 14:00 開演予定 ルネこだいら大ホール

指揮:郡司博/ピアノ:松本康子、小林牧子/管弦楽:オラトリオ・シンフォニカ JAPAN

主催:小平コーラス・アカデミー/後援:認定NPO 法人おんがくの共同作業場

練習スケジュール:カンマーザール in 立川

2月17日(日)13:30~16:00

2月24日(日)18:15~20:45

3月10日(日)18:15~20:45

3月17日(日)18:15~20:45

3月31日(日)18:15~20:45

4月7日(日)18:15~20:45

4月21日(日)13:30~16:00

5月12日(日)18:15~20:45

5月19日(日)13:30~16:00

6月2日(日)18:15~20:45

6月16日(日)18:15~20:45

6月30日(日)時間未定

7月5日(金)夜・オケ合わせ ※追加になりました。

7月6日(土)午前 GP/14:00 ルネこだいら本番



●費用:練習費+演奏会チケット(3000円)4枚分含む 20,000円